

後援会倶楽部 会報 Vol.

34

HOSEI Univ.

法政大学後援会クラブ総会特集 2018年6月16日(土)開催



後援会クラブの精神が、全国へ広がることを願っています。



法政大学
後援会クラブ会長
濱 清隆

去る6月16日の土曜日、前夜までの雨は上がり、法政大学後援会クラブ52回目の総会が九段校舎で開催されました。今年も世代を跨り多くの笑顔で総会の会場は埋めつくされました。

後援会クラブの主な行事は6月の総会、秋の日帰り旅行会、そして新年の賀詞交歓会です。後援会時代に比べると会員同士が顔を会わせる機会は少ないものの、だからこそ三つの行事は密度の濃い時間になっていると感じられます。

クラブの活動は首都圏だけではありません。後援会クラブ関西支部は新年会、お花見の会、暑気払いなど活発に

活動をされています。さらにいくつかの後援会の地方支部の方々からクラブ設立に向けての動きがあると聞いています。

「子どもの母校はわが母校」。わが子が法政大学を卒業した後も法政大学を応援し続けるクラブの精神が全国に広がることを願っています。



節目を迎えた52年目のクラブ活動。 世代を超え、メンバー全員が参加可能で享受しあうものに！



2018 年度 相談役
山内 朗弘さん

当日は、午前中の地元でのミーティング（夏祭り打合せ）が長引き、馳せ参じた時には既に審議の大半が……という失態につき、“総会のレポートを”とのご要請には辞退させていただきますが、52 年目を迎えたクラブ総会に或る種“節目”を感じました。

濱さん（会長 2 期目）の下、新役員が増員され、約三十名での執行体制に。明確な役割を持ちつつ補完しあう、いわば全員参加型とも。限られた方が方針を決め全体を牽引していくというより、より多くの方が使命感を感じてクラブ運営に積極的に携わる、会員が参加し易い体制の方が当会の性格&時宜に叶うものといえましょう。

一方、永年にわたりクラブのリードオフマンを務めてこられた末吉・西澤両氏は顧問に。

Common Sense を兼備えたお二人には、引き続きクラブの特質を踏まえつつ、各世代を繋ぎ新体制を指導・支援して頂きたいと思います。

人に例えても「人生 100 年」時代。後援会クラブも次の「100 年」に向けて再起動に入りました。クラブ活動は世代を超えメンバー全員が参加可能で享受し合うもの。HOSEI CAMPUS LIFE（放課後の）に、今年度も笑顔で参集しましょう！！





「子どもがお世話になった法政大学が大好き」 その気持ちが溢れる後援会クラブに感謝！



岩内 健二さん

去る6月16日(土)、午後から九段校舎にて開催された「2018年度(平成30年度)法政大学・後援会クラブ総会」に出席しました。

年に数回送られてくる『後援会倶楽部会報』からも、クラブが年々発展し続けているのを承知していましたが、本年の総会に出席し、改めてその感を強くしました。

総会では、会員相互の親睦交流以外に、大学側から市ヶ谷キャンパス再開・志願者数と入試結果などの情報や、現役学生の就職近況も聞けて、すごく参考になります。ご来賓の小澤雄司氏(法政大学常務理事)からは、本年の志願者数は12万名余、実志願者数も6万名余で、いずれも全国2位と、法政大学が屈指の総合大学になった報告がありました。田中優子総長の魅力も

相まって、全国から多くの優秀な若者が法政大学をめざして受験してくれることや、新春の箱根駅伝の健闘など、元保護者として嬉しく拝聴しました。また、経済的に苦しい学生のための奨学金制度では、微力ながらクラブとして協力しており、会員の皆さまの善意に感銘を受けました。

全議題が滞りなく可決承認され新体制での懇親会では、とりわけ楽しく和やかな交流の場となりました。皆さまのスピーチも心温まるものばかり。共通しているのは、会員相互に利害関係がなく、年齢・性別・職業を超えて、ただひたすら「子どもがお世話になった法政大学が大好きだ」という共通項で一致しているので、楽しいのは当然です。

楽しさを倍増させている要因としては、濱清隆会長を中心として役員の皆さまがクラブを盛り上げるために楽しんで協力されている現実があります。後援会役員を卒業された方も、引き続きクラブに入会されるので、常に新陳

代謝が繰り返され、老若男女が和やかに旧交を温めることができる素晴らしいシステムです。

さらに最も重要なのは、貴重な情報満載の『後援会倶楽部会報』の編集・送付が、会員相互の紐帯・絆を強めるためにどれだけ役に立っているか、ということです。どのページを開いても、腕を組んで明るく校歌を歌う写真や、祝杯を挙げながらVサインの笑顔の皆さまを目にします。いつも工夫が凝らされた洒落たレイアウトの会報発行に尽力されている末吉美智江様・西澤正博様・池邊裕様や広報担当スタッフの皆さまには、心から感謝の意を表したいと思います。

私は遠隔地? の名古屋から参加させていただいておりますが、それだけの価値のある会であり、いつも充足感を持って帰途についております。ありがたいことです。

一筆、本年の総会に出席した御礼を述べさせていただきます。感謝、感謝。 

退任・就任
ごあいさつ



「ありがとう、後援会クラブ！」

末吉 美智江さん

(2018 年度より顧問就任)

後援会活動を卒業して、ほっと一息つく間もなく、長年後援会活動を共にした仲間と後援会クラブに入会したのがクラブ 40 周年記念式典の当日でした。あれから 12 年。この度、副会長を退任し、顧問として応援させていただくことになりました。在任中のご支援ご協力に心から感謝申し上げます。

振り返れば、同じ志を胸にして、法政大学を愛し、法政大学の学生たちを心から応援する仲間と囲まれ、明るく、楽しく、元気なクラブ活動の日々を過ごせました。クラブの行事の一つひとつに、またクラブ活動で出会ったお一人おひとりと忘れられない思い出がたくさんできました。私は、『即今・只今』という言葉をもっと、今を明るく、輝きながら、楽しく行動することを大切に、心からクラブ活動に力をそそぐことができました。

クラブの会議は真剣で活発、適材

適所の皆で協力し合い、行事当日は最高に楽しむ！！

100 歳を超えても、かくしゃくとして、総会や賀詞交歓会の行事に参加して下さった船越先輩(故人)に、生前、インタビューをしました。“長生きの秘訣”や、“人生での大切なものはなんですか？”の問いに、いただいた含蓄のあるお答えが、今でも心に残ります。そんな素晴らしい大先輩を筆頭に、人生経験豊富な諸先輩が大勢クラブ活動をしていらっしゃるって“子どもの母校はわが母校！”を合言葉に、いつも共通の話題に花が咲きました。

◆クラブ 50 周年記念式典 (2 年前のボアソナード・タワー・スカイホール)

100 人を超えるクラブ 50 周年記念式典の参加者全員が着席するという初めての試み。いつもの場所が豪華な雰囲気の様変わりしました。夢のようなことを現実のものにした、企画力！行動力！団結力！素晴らしいです。

◆旅行会での「偶然の嬉しい出会い」

団結力、行動力は旅行会でも発揮され、クラブの個性溢れる独自の企画によって、いずれの観光地でも、楽しさを何倍にもすることができました。嬉しい偶然は、後援会クラブの旗の下で起こりました。元気な団体行動は、相当目立つもので、東京タワー見学では、クラブ旗を見

たひとりの青年に『僕、法政大学卒業なんです！！』とニコニコと声をかけられたり。昨年の、秋の散策の皇居～丸の内の旅行会の折には、集合写真を撮影する私たちに、数人のご婦人たちが近づいてきて『私たち法政大学水泳部員の親です！！』。こんな偶然の出会いは嬉しくて、クラブ旗の下、集合写真にはご婦人たちも一緒に納まり、思い出に残る写真は倶楽部会報 vol.33 に掲載されました。

◆倶楽部会報への想いは深く

平成 19 年 3 月『倶楽部会報』創刊第 1 号。11 年前、山内相談役(当時総務担当)の発案で、会員へ向けて、クラブ三大行事(総会・旅行会・賀詞交歓会)の模様をお知らせするための倶楽部会報がスタートしました。私は総務として旅行会を担当。その思い出を記事にして毎回お届けできたことがとても楽しくて、学ぶことも多く、貴重な経験となりました。倶楽部会報 vol. 23 からは、『強力な広報メンバーを』とお願いして、現・副会長、池邊さんに編集にお力をいただくこととなり、益々素晴らしい『倶楽部会報』になりました。

書ききれない程のクラブ活動の思い出と経験は、これからの人生を生き活きと生きる原動力として活かしていきたいと思います。

才能溢れる、頼もしい後輩たちに恵まれ、クラブは楽しい輪がますます大きく広がる事でしょう、これからは顧問としてクラブ活動での縁の下での力持ちとして頑張っていきたいと思います。 感謝に添えて ❀



「これからも皆様と一緒に！」

西澤 正博さん

(2018 年度より顧問就任)

濱会長はじめ、役員の皆様方にお許しを請い、新年度より顧問の立場にて、後援会クラブのお手伝いをさせていただくことになりました。ただ、立場は変わっても、法政大学を、そして後援会クラブを、皆様と一緒に盛り上げていきたいとの気持ちに、変わりはありません。

引き続き、後援会クラブの伝統の灯を絶やす事のないよう、微力ながら精進いたします。 ❀

総会での議事についてご報告いたします。

◎2017年度 収支決算書（一般会計）報告（※承認済み）

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	990,392		
入会金	75,000	行事費	892,788
年会費	465,000	活動費	204,730
行事会費	1,093,500	役員会費	18,307
預金利子	12	通信費	36,900
雑収入	38,500	事務費	69,346
		雑費	45,900
		冠奨学金	88,500
当年度収入	1,672,012	当年度支出	1,356,471
		次年度繰越金	1,305,933
合計	2,662,404	合計	2,662,404

◎2017年度 収支決算書（冠奨学金）報告（※承認済み）

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	593,000		
冠奨学金（一般会計より）	88,500	後援会クラブ奨学金	0
寄付金（ゆうちょへの振込）	15,000		
当年度収入	103,500	当年度支出	0
		次年度繰越金	696,500
合計	696,500	合計	696,500

◎2018年度 予算案（一般会計）（※承認済み）

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	1,305,933		
入会金	30,000	行事費	1,000,000
年会費	150,000	活動費	100,000
行事会費	1,000,000	役員会費	20,000
預金利子	0	通信費	70,000
		事務費	70,000
		雑費	10,000
		冠奨学金支出	50,000
当年度収入	1,180,000	当年度支出	1,320,000
		次年度繰越金	1,165,933
合計	2,485,933	合計	2,485,933

◎2018年度 予算案（冠奨学金）（※承認済み）

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	696,500		
一般会計より繰入	50,000	後援会クラブ奨学金	500,000
当年度収入	50,000	当年度支出	500,000
		次年度繰越金	246,500
合計	746,500	合計	746,500

EVENT 2018年度 行事予定

- ・2018年11月23日（金・祝）
懇親旅行（～会うたびに新しい発見がある～ Find Your YOKOHAMA）
- ・2019年1月26日（土）
賀詞交歓会（大学構内）
- ・2019年6月15日（土）
総会（九段校舎 予定）

☆会報発行 年2回（予定）
☆スポーツ応援 HSC 活動に準拠して実施

◎2018年度 法政大学後援会クラブ 役員一覧（※承認済み）

役職	氏名	（担当）	備考
会長	濱 清隆		
副会長	國本 美津子	会計	
副会長	押山 憲昭	行事（賀詞交歓会・総会）	
副会長	池邊 裕	広報・組織	
副会長	寺林 治美	会務	
副会長	今村 浩	行事（旅行会）	
副会長	渡邊 秀雄	会務	
総務	齊藤 彦明	組織（支部担当）	
総務	植草 茂伸	広報（HP）・会務（システム化）	
総務	千葉 大一	行事	
総務	戸松 みゆき	会務	
総務	佐久間 貴子	行事	
総務	鈴木 聖子	広報	新任
総務	小林 章	広報	新任
総務	中村 恵吾	組織（入会促進）	新任
総務	柳田 明彦	行事	新任
総務	高沢 香苗	行事	新任
会計	富澤 忍		
会計	池田 隆		
会計監査	日野 聖		
会計監査	吉水 ひろみ		
相談役	山内 朗弘		
顧問	池上 孝三		
顧問	川鍋 直則		
顧問	市野 喜代子		新任（再任）
顧問	末吉 美智江		新任
顧問	西澤 正博		新任
HSC（法政 スポーツコミュニティ） 久保田 寿男			
HSC（法政 スポーツコミュニティ） 栗田 敬子			

NEWS

2018年度より、旅行会を新たな手法で運営いたします。

これまで役員の企画・主導により行ってきた旅行会ですが、より幅広い年代の皆さまに参加していただくために、また、実行人数を増やして一人当たりの負担を軽減するために、新たな試みとして、後援会クラブの入会年度別の「期」による当番期を決め、当該期のメンバー全員で企画～当日運営までを担当していただく方法を試行いたします。2018年度はその第1回目。どうぞお楽しみに。

New Face

| 新入会員紹介 |

クラブにチカラを注いでくれる頼もしいメンバーが、また新たに加わってくださいました！

この度入会させていただきました山田京子です。

娘の卒業と同時に後援会活動も終わりましたが、同期の仲間 2 人と声を掛け合って入会を決めました。

引き続き後援会クラブで皆さまと法政大学を応援して行けたらと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。



夫は卒業生で（経営学部経営学科）校友会活動しており、家族で六大学野球や箱根駅伝の応援をしています。

山田 京子さん

今年から後援会クラブに入会させていただきました坂元です。

この春、無事に卒業・就職した息子はスポーツとは無縁な学生生活を送りましたが、親の私の方だけスポーツ応援にハマってしまい、応援会場では先輩方にとってもお世話になりました。

親切にいただいた分をお返し出来たら良いのですが、お役に立てそうな才覚もありませんので、引き続きスポーツ応援に尽力させていただきたいと思います。よろしくお願いします。



坂元 真理子さん

この度、後援会クラブに入会させて頂きました神谷栄と申します。

後援会幹事の現役中は、諸先輩方に大変お世話になりました。4 年間大変ではありましたが本当に有意義で楽しく過ごすことが出来ました。

退任式を終えた時は、これで役目は終わった！ と一瞬ホッとしたのですが、途端に寂しくなりました。丁度、後援会クラブのお話をお聞きしていましたので、また何らかの形で法大生の応援が出来ればと入会いたしました。一人では何も出来ない私ですので、どうぞご指導のほど宜しくお願いいたします。



神谷 栄さん

この度、入会させていただく事となりました上田直子です。現在、滋賀県民ですが、出身は横浜市です。

縁あって長女が 2 年前に法政大学を卒業し、次女は今、法政大学 3 年生です。

後援会では、長居のサッカー応援・六大学野球応援・関西大学でのアメフト応援など、今までにない経験をさせていただきました。

今後は諸先輩方とご一緒できる時間を楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。



上田 直子さん

新任役員からの



メッセージ

2018 年度 顧問就任 市野 喜代子さん 「存在感のある懇親の輪がさらに広がりますように」



この度、2018 年度顧問に再任を戴きました市野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

再びお声をかけて戴きまして、また皆様とご一緒出来ますこと大変嬉しく思います。

このクラブの活動に参加させていただく度に“なんて賑やかで活気溢れる会になったことでしょう”と常々感じています。そして私自身もいつも楽しいひとときを過ごさせて戴いております。それはきっと、後援会時代に、

大変お忙しくご活躍なさっていらした方々が、そのまま、そのパワーをこのクラブに繋いで下さっているからではないかと心より思っています。本当に嬉しいことです。

これから後援会、後援会クラブと繋がる襁の下、大先輩の方々、そして若い OBOG の方々との融合で、ますます存在感のある懇親の輪が広がっていく会になりますことを願いつつ、私も微力ながらお手伝いをさせて戴きたいと思います。

どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

2018 年度 総務就任（広報担当） 小林 章さん



この度の総会で広報担当に就任いたしました小林章です。文才もセンスも皆無の人間ですが、池邊副会長の下、植草先輩、鈴木先輩のご指導を頂き、末吉前副会長（新顧問）、戸松先輩等が築かれた良き広報活動の伝統を引き継ぎまして、会員の皆様にクラブライフの楽しさを少しでも感じて頂けるような愛される広報活動を目指してまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

2018 年度 総務就任（組織（入会促進）担当） 中村 恵吾さん



この度、組織（入会促進）を仰せつかりました、2016 年度入会の中村恵吾でございます。法政大学にお世話になったことをきっかけに、諸先輩とのめぐり合い

を大切に参りたいと思います。

後援会クラブのサステナビリティを担う新入会員の獲得に向けて、東奔西走させて頂く所存ですので、引き続きご指導の程よろしくお願い申し上げます。またスポーツ応援も旅行会も毎回楽しみにしておりますので、その情報発信にも尽力して参ります。

2018 年度 総務就任（行事担当） 柳田 明彦さん



今年度より行事担当総務に選出されました柳田明彦です。2016 年に後援会を卒業と同時にクラブに入会しました。クラブ活動はまだ 2 年間ですが旅行会や新年の賀詞交歓会等後援会クラブの多くの行事に参加させていただきました。大変すばらしい企画ばかりで一方的に楽しませていただきました。今後は役員として皆さんを楽しませるためのお手伝いを微力ながら、頑張っていきたいと思ひます。自分自身が楽しむことも忘れません。よろしくお願い致します。

2018 年度 総務就任（行事担当） 高沢 香苗さん



この度、行事担当を拝命いたしました高沢香苗と申します。

クラブ会員の皆様は、お子さまが卒業されてもなお、「子どもの母校はわが母校」を体現されていらっしゃる、法政大学にとっても深い愛情をお持ちです。そのような皆様に、楽しい一時を過ごしていただけるクラブにすることが私の希望です。そして、法政大学の学生のために少しでも力になれるよう、頑張りたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

アメリカンフットボール

宿敵・日大の不在により、久しぶりに甲子園ボウル出場への期待が高まる「法政オレンジ」。圧倒的な強さで1部 TOP8を制覇すべく臨んだ秋季リーグの初戦が、9月2日(日)、アミノバイタルフィールドで行われました。対戦相手は明治大学。

試合は1Qから明治大学にTDで先制され、常に法政が追いかける予想外の接戦。4Qに入ってもいつもの強さが見られない法政大学。しかし、試合終了まで残り32秒、意地のロングパスを通しTD、そのあとのキックも成功させ、なんとか逆転に成功！ このまま逃げ切れるかと思った瞬間、相手オフェンスの見事なパスと法政の反則により、あっという間にFG圏内に攻め込まれ、法政ファンの願いもむなしく、明治大学にFKを決められ、結局14-16で痛恨の黒星を喫することになってしまいました。

スポーツは「予想外」があるから面白いものです。今季のアメフトの天王山は、終盤の早大戦になるだろうとタカをくくっていましたが、さすがに、毎年各大学のレベルは予想以上に上がっていることを痛感します。学生アメフト界にとってはいいことですね。

優勝するために、1試合の重みがさらに増してきた今季リーグ戦。緊張感漂うしのぎを削る戦いを、今年も強気にバックアップしましょう！ 〈池〉

硬式野球

9月8日(土)、東京六大学秋季リーグ戦も開幕。今季初戦の相手は、優勝回数日本一奪還のために、これ以上は負けられない早稲田大学。1勝1敗となり勝負は9月10日(月)の第3戦へ！ 6回まで早稲田に0-3とリードされるも8回に4点を入れて逆転。しかし9回裏に同点に追いつかれ、第2戦に続きまでもや延長戦へもつれ込みます。最後は総力戦になり、延長11回、期待のビッグネーム・常総学院出身の宇草くん(3年)が貴重なホームランを放ち、5-4の1点差で見事勝利！ 5季ぶりに開幕カードで勝ち点を挙げることができました。

初戦を3安打1失点で見事完投勝利の昨年の甲子園球児・三浦くん(福岡大大濠・1年)や、いきなり2本塁打でパワー炸裂の中山くん(履正社・4年)をはじめ、投手陣も打線も、主軸とフレッシュな力が融合し、チーム力は格段と成長しています。今季こそ王者の風格を見せてくれることでしょう。「45回目」の優勝へ向かって、熱い声援を送りましょう！ 〈池〉

HSC 秋の統一応援日

【野球】9/29(土) 神宮球場 対慶大 10:30~

【ラグビー】10/28(日) 秩父宮ラグビー場 対大東大 14:00~

【アメリカンフットボール】

11/25(日) 横浜スタジアム 対早大 16:45~

Information

| 年会費納入のお願い |

◇今年度(2018年4月~2019年3月)の年会費納入のお願いです。

◇本クラブの活動は、皆さまからお預かりする会費が唯一の財源です。これまで未納年度があった方も、遡ることはありません。会員の確認になりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【年会費(金額)】
3,000円

【振込先】
みずほ銀行 市ヶ谷支店(店番号:207)
(普通) 1305205
法政大学後援会クラブ 濱 清隆

※振込手数料はご負担願います。
※みずほ銀行 Tel: 03-3234-2721

編集一集一後一記

◆数十年ぶりで総会に参加された先輩から、懇親会でお元気な近況を伺えた。久々の参加でも、一緒に明るく楽しいクラブ活動ができる三行大、いつでも参加をお待ちしています！ ◆経験したことのないこの夏の台風と大水害、地球全体がおかしい。高温多湿の異常気象は、危険なまでの厳しい暑さとなった。一方スポーツ好きにとっては、サッカーワールドカップに始まり、クラブ仲間と交わすスポーツの話題で更に熱く燃えた日々となった。◆パンパシフィック水泳、続くアジア大会の、水泳・青木智美選手、サッカー・上田綺世選手、ハードル・金井大旺選手、棒高跳び・竹川侔生選手ら、法大生・法大卒業生が素晴らしい成績をおさめた。2020東京五輪での活躍を期待し、2年後の夏は更に熱い日々となることだろう。みなさん、元気に応援していきましょう！！ 〈末吉 美智江〉

会報 Vol.34 ● 2018年(平成30年)9月18日発行
広報 ● 末吉 美智江(顧問)
植草 茂伸/鈴木 聖子/小林 章
協力 ● 西澤 正博(顧問)
編集 ● DTP ● 池邊 裕
法政大学後援会クラブ(後援会事務局)
〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3
Phone: 03-3264-9350, Facsimile: 03-3264-9367
hosei.k.club@gmail.com
http://koenkai-club.jimdo.com/